



【松本建設株式会社、京都市「オスカー認定」を取得】

松本建設株式会社(本社:京都市伏見区横大路千両松町70番、代表取締役:松本 佳之、以下「当社」)は、京都市および公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)が推進する、優れた事業計画をもとに新しい挑戦をする中小企業を認定する制度「オスカー認定制度」において、2026年度オスカー認定企業に選出されましたことをお知らせします。

■ 認定の背景:人と社会に誠実な「真正性(オーセンティシティ)」を基準とした企業アップデート

審議会の最終プレゼンテーションにおいて当社代表の松本は、自社をハブとした企業連携や、現場関係者のインサイト(潜在的ニーズ)に基づく開発体制を提示。人や組織が社会に貢献する上で「偽りなく正しいこと」を意味する「真正性」を軸とした企業改革で、低価格(導入費を従来から最大約80%減)な商品が誕生したプロセスを訴求しました。

その実例として、障害者施設(就労継続支援B型事業所)とのデータ処理連携や、海外在住の求職者が自国にいないが日本の業務に従事できる海外データ処理拠点の構築など、多様な働き方を創出する運用体制を挙げ、下記の新商品とともに審査員から高い評価を得ました。

■ 新商品「M-CIM Pilot(エム・シム パイロット)」の概要と解決する社会課題

新商品「M-CIM Pilot」は舗装工事用の建機に取り付けるナビゲートシステムで、当社の舗装修繕工事用詳細電子地図システム「M-CIM Core(エム・シム コア)」と、舗装工事管理用データクラウドサービス「M-CIM Cloud(エム・シム クラウド)」の間を、現場施工レベルで継ぎ目なく連携させるシステムです。

(新商品の特長)

施工の安全と品質向上：従来は職人の感覚に頼っていた道路舗装・補修の建機操作をデータでナビゲートし、施工不良や事故リスクを大幅削減。カーナビのように既存の手動操作建機へ後付けが可能です。さらに、道路変形に伴うマンホールの適切な位置・傾きの自動計算および建機への衝突回避アラーム連動により、排水関連設備の破壊を防ぎ施工時の安全性を飛躍的に高めます。

排水勾配シミュレーションに基づいた施工：舗装修繕に直結する雨水等の排水計画をビジュアルで示し、都市の水対策を合理化。本システムは、そのシミュレーションで導き出した最適な形状を、現地へと高精度にアウトプットします。

インフラ長寿命化と環境貢献：舗装の平坦性向上により、道路の長寿命化、走行騒音の低減、走行車両の燃費向上、排水性能の改善を同時に実現します。

定量データの提供：施工・環境改善効果を、国際基準に基づいた定量的データとして出力・可視化します。予実管理も視覚化し、国交省の土木データ様式(従来型および最新のGISシステム)に対応します。

■ 今後の展望について(展示会のご案内)

直近の展示会出展は「建設技術展2026近畿」を予定しております(場所：インテックス大阪、会期：2026年10月28日・29日)。本技術も出展予定ですので、実物を間近でご覧いただけます。

当社は今後も、技術革新と社会的責任の双方を果たしながら、地域経済および業界の発展に貢献してまいります。

松本建設株式会社
代表取締役 松本佳之